

2026年度 学科別授業科目一覧表 (実務経験表記あり)

課程：工業専門課程

学科：高度情報システム科

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
57	Java演習Ⅱ	3	30	2	必修	実習	有
58	Java文法Ⅱ	3	30	2	必修	講義	有
59	Java資格対策	3	30	2	必修	講義	有
60	モバイルアプリ開発	3	60	4	必修	実習	有
61	UMLⅠ	3	30	2	必修	講義	有
62	UMLⅡ	3	30	2	必修	講義	有
63	LPIC/LinuC対策Ⅰ	3	30	2	必修	講義	有
64	LPIC/LinuC対策Ⅱ	3	30	2	必修	講義	有
65	データサイエンス	3	30	2	必修	講義	有
66	ソフトウェアテスト	3	60	4	必修	実習	有
67	セキュリティ監査	3	30	2	必修	講義	有
68	ロボット制御Ⅰ	3	60	4	必修	実習	有
69	ロボット制御Ⅱ	3	60	4	必修	実習	有
70	事例研究	3	60	4	必修	実習	有
71	AI数学Ⅱ	3	30	2	必修	講義	無
72	電気基礎	3	30	2	必修	講義	無
73	実践英語Ⅰ	3	30	2	必修	講義	有
74	実践英語Ⅱ	3	30	2	必修	講義	有
75	就職対策Ⅰ	3	30	2	必修	講義	有
76	就職対策Ⅱ	3	30	2	必修	講義	有
77	企業会計Ⅱ	3	30	2	必修	講義	有
78	情報関連法規Ⅱ	3	30	2	必修	講義	有
79	体育実習Ⅲ	3	30	2	必修	実習	無

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		3年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	Java演習Ⅱ		稲垣 高宏	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
JAVA文法Ⅱの講義内容を理解するために、その講義に対応した演習問題をおこなう。 基礎を学ぶ。																					
【講義概要】																					
JAVA文法Ⅱの講義内容を理解するために、その講義に対応した演習問題を実際に作成して実行して確認する。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	Swing GUI入門と描画																				
2	イベントと匿名クラス																				
3	コンポーネントと入力制御																				
4	レイアウトとデザイン																				
5	データベースの基礎とJDBC																				
6	マルチスレッドプログラミング																				
7	まとめ																				
8	ラムダ式とStream API																				
9	関数型インターフェース																				
10	JSONデータの扱い																				
11	カプセル化																				
12	ネットワークプログラミング																				
13	応用演習：DB連携GUI																				
14	応用演習：ネットワークGUI																				
15	まとめ																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>60%</td><td></td><td></td><td>40%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	60%			40%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	60%			40%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
メーカー系IT企業でSE、プログラマとして開発業務に従事する。20代で起業して外資系やメーカー系の会社などを中心に開発業務に従事する。開発のほかに、マニュアルなどの翻訳や出版業務も行う。																					
【教科書・参考文献】																					
参考文献：スッキリわかるJava入門 中山 清喬/国本大悟著																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		3年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	講義	Java文法Ⅱ		稲垣 高宏	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
JAVAの文法を深く理解する。基礎の文法は知っているとして、実用的なライブラリなどが使えるようにする。基礎を学ぶ。																					
【講義概要】																					
基礎の文法はできているとして、実務的なライブラリなどを説明する。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	Swing GUI入門と描画																				
2	イベントと匿名クラス																				
3	コンポーネントと入力制御																				
4	レイアウトとデザイン																				
5	データベースの基礎とJDBC																				
6	マルチスレッドプログラミング																				
7	中間試験																				
8	ラムダ式とStream API																				
9	関数型インターフェース																				
10	JSONデータの扱い																				
11	カプセル化																				
12	ネットワークプログラミング																				
13	応用演習：DB連携GUI																				
14	応用演習：ネットワークGUI																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>60%</td><td></td><td></td><td>40%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	60%			40%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	60%			40%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
メーカー系IT企業でSE、プログラマとして開発業務に従事する。20代で起業して外資系やメーカー系の会社などを中心に開発業務に従事する。開発のほかに、マニュアルなどの翻訳や出版業務も行う。																					
【教科書・参考文献】																					
参考文献：スッキリわかるJava入門 中山 清喬/国本大悟著																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		3年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	講義	Java資格対策		川前 亘	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
全員：Oracle社認定のJava資格試験であるJava SE Bronze（1Z0-818）への合格を目指す。							
【講義概要】							
合格すれば著名なベンダ資格が手に入り就職にも有利となる一方、合格できなければ意義が薄い時間になってしまう。各人、教科書を3周すること。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	教科書の問題演習						
2	教科書の問題演習						
3	教科書の問題演習						
4	教科書の問題演習						
5	教科書の問題演習						
6	教科書の問題演習						
7	中間試験						
8	教科書の問題演習						
9	教科書の問題演習						
10	教科書の問題演習						
11	教科書の問題演習						
12	教科書の問題演習						
13	教科書の問題演習						
14	教科書の問題演習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	100%					100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
大手化学系メーカーで社内SEを経験後、独立系Silerでシステム開発経験有 基本情報処理技術者、応用情報処理技術者資格を保有							
【教科書・参考文献】							
徹底攻略Java SE Bronze問題集 [1Z0-818] 対応（インプレス）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	モバイルアプリ開発		高橋	有	4単位 60時間	

【授業の到達目標及びテーマ】

これまで複数年に渡りプログラミング言語を学習してきた成果を活かし、アプリ開発を学習していく。初めてとなるプログラミング言語 Kotlinを学び、一歩ずつアプリ開発を行い、複数のアプリを制作していく。

【講義概要】

Kotlinの基礎を学んだ後に、小さなアプリ開発を行い、アプリを完成させる達成感を体験するように授業は進んでいく。教科書を使用するため、教科書は必携すること。(貸出不可)

回	授業計画及び学習の内容
1	Android Studioについて。Kotlinについて。
2	クリックアプリ作成、LinearLayoutの確認
3	イベントの確認
4	フラワーシミュレーター
5	フラワーシミュレーター
6	エモーショナル写真集
7	エモーショナル写真集
8	早口言葉の達人
9	早口言葉の達人
10	いつでもどこでも難読漢字
11	いつでもどこでも難読漢字
12	ぜったい挫折しない日記帳
13	ぜったい挫折しない日記帳
14	課題レポート
15	課題レポート

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	60%		20%	20%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

15年以上、Webデザイナー・Webプログラマとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。

【教科書・参考文献】

いきなりプログラミング Androidアプリ開発、Sara (著)、翔泳社

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	UML I		笹原 重人	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
到達目標はシステム開発の実践の場で要件定義、基本設計、詳細設計、プログラム設計等でUMLでドキュメントを作成出来るようになることで、環境としてはUML統合環境ツールの使用を一人称で活用出来るところを目指します							
【講義概要】							
UML統合環境を使用しそれぞれのダイアグラムを各表記法にてどう描くかを想像できるよう実践的な捉え方を習得する							
回	授業計画及び学習の内容						
1	UMLとは オブジェクト指向 標準化 Astah professionalツールの使用法とダイアグラムの種類の説明						
2	ユースケース図 特徴(振る舞い図) 表記ルール アクターとユースケース オブジェクト間の関係						
3	ユースケース図 関連 包含 拡張 汎化 演習問題(基本問題 問題の捉え方 掴み方)						
4	ユースケース図 演習問題(応用問題 実践問題 解放の手引き)						
5	オブジェクト図 特徴(構造図) 表記ルール オブジェクトアイコン 属性 関係 インスタンスとクラス						
6	オブジェクト図 演習問題(基本問題 応用問題 解放の手引き)						
7	クラス図 特徴 表記ルール 属性 操作 可視性 多重度 ロール クラス間の関係について						
8	中間試験						
9	クラス図 関係には(関連 限定子 複数関連 集約 依存 汎化)						
10	クラス図 関係には(コンポジション 実現 抽象クラス 関連クラス)						
11	クラス図 演習問題(基本問題からクラスアイコン クラス間の関係の表記 ロールと多重度の表記)						
12	クラス図 演習問題(応用問題 実践問題 UML/L1レベル相当の問題)						
13	シーケンス図 特徴 表記ルール 同期メッセージ 非同期メッセージ リプライメッセージ						
14	シーケンス図 ロストメッセージ ファウンドメッセージ 実行指定						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計	
割合	80%			20%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
IT企業で開発職に従事、製造業/物流業/食品業を中心に開発からマネジメントまで幅広い分野の業務を経験							
【教科書・参考文献】							
技術評論社 かんたんUML入門 [改訂2版] ナツメ社 はじめて学ぶUML 第2版							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		3年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	UML II		笹原 重人	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
到達目標はシステム開発の実践の場で要件定義、基本設計、詳細設計、プログラム設計等でUMLでドキュメントを作成出来るようになることで、環境としてはUML統合環境ツールの使用を一人称で活用出来るところを目指します							
【講義概要】							
前年2年生後期からの継続実習でUML統合環境を活用したダイアグラム表記が各表記法で描けかつ実践的な表記を習得する							
回	授業計画及び学習の内容						
1	シーケンス図 制御構造化表現の表記法 パラレル クリティカル break ref assert seq ignore strict						
2	シーケンス図 演習問題(基本問題 応用問題 演習の解法・解説) 演習の解法・解説						
3	コミュニケーション図 ライフライン及び基本表記法 メッセージの種類・表記法 オブジェクトの関連						
4	コミュニケーション図 演習問題(基本問題 応用問題 演習の解法・解説)						
5	ステートマシン図 基本的表記法 状態遷移の表記法 状態の階層化 疑似状態 状態再利用 拡張の表記						
6	ステートマシン図 状態遷移とトリガ 状態の階層化 直交状態 各々疑似状態 履歴疑似 選択疑似						
7	中間試験						
8	ステートマシン図 フォークとジョイン疑似 ジャンクション疑似 停止疑似 合成状態						
9	ステートマシン図 演習問題(基本問題 応用問題 演習の解法・解説)						
10	アクティビティ図 基本的表記法 アクションとノード 各々のノード 各々のアクション 表記上の注意点						
11	アクティビティ図 パーティション 呼出し振舞アクション 入出力ピン パラメータアクティビティノード						
12	アクティビティ図 演習問題(基本問題 応用問題 演習の解法・解説)						
13	パッケージ図 基本的表記法 パッケージ図の描き方 階層構造 依存関係 表記上の注意点						
14	パッケージ図 内部要素の切り出し 演習問題(基本問題 応用問題 演習の解法・解説)						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計	
割合	75%	10%		15%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。							
【教員紹介】							
IT企業で開発職に従事、製造業/物流業/食品業を中心に開発からマネジメントまで幅広い分野の業務を経験							
【教科書・参考文献】							
技術評論社 かんたんUML入門 [改訂2版] ナツメ社 はじめて学ぶUML 第2版							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		3年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	講義	LPIC/LinuC対策 I		太田 和也	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
Linux Essentialsを取得する																					
【講義概要】																					
CentOSの基本的な操作を習得していることを前提として、Linux Essentials試験対策に特化した知識の整理を行う。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	パス、ユーザ、コマンドの基本書式																				
2	シェル変数と環境変数																				
3	ファイルとディレクトリの操作																				
4	テキストファイルの操作																				
5	アーカイブの作成展開、圧縮と解凍、テキストエディタvi																				
6	ここまでの復習																				
7	中間試験																				
8	スクリプトの基本																				
9	ハードディスク、各種ディレクトリの役割																				
10	ネットワーク基礎																				
11	ユーザとグループの管理																				
12	パーミッション設定、Linuxのアプリケーション																				
13	Linuxのディストリビューションとライセンス																				
14	ここまでの復習																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>60%</td><td></td><td>40%</td><td></td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	60%		40%			100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	60%		40%			100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
独立系IT企業にて、アンチウイルス製品のプリセールスおよび製品導入作業、サーバの設計、構築、保守に従事。																					
【教科書・参考文献】																					
特になし。授業中に独自に作成したプリントを配布する。																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		3年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	必修	LPIC/LinuC対策Ⅱ		鈴木 俊	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
LPIC Lv1-101 資格試験合格に必要な知識を身につけることを目標とする。																					
【講義概要】																					
Linux シェルのコマンドライン操作、Linux システム管理（デバイスとファイルシステム、パッケージ管理）の基本を身につけていることを前提として、LPIC Lv1-101 資格試験の問題対策を行う。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	コマンドラインでの作業																				
2	基本的なファイル管理、ストリーム・パイプ・リダイレクトの使用																				
3	プロセスの作成、監視、終了、プロセスの実行優先度の変更																				
4	正規表現を使用してのテキストファイル検索																				
5	パーティションとファイルシステムを作成する																				
6	中間試験対策																				
7	中間試験																				
8	ファイルのパーミッションと所有権の管理																				
9	ハードウェア設定の決定と設定、システムを起動する																				
10	ハードディスクレイアウト																				
11	Debianパッケージ管理を利用する																				
12	RPM YUMパッケージ管理を利用する、仮想化ゲストとしてのLinux																				
13	期末試験対策																				
14	LPIC101 資格試験範囲全体の復習																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験</th><th>小テスト</th><th>自習課題</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td></td><td>20%</td><td></td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験	小テスト	自習課題	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%		20%			100%
評価項目	試験	小テスト	自習課題	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%		20%			100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
金融、通信キャリアの構築・運用業務に、インフラ（NW、サーバー）エンジニアとして従事 携帯電話会社のメールシステム構築業務、金融会社のシステム設計・構築業務、等																					
【教科書・参考文献】																					
教科書：翔泳社、中島 能和（著）、Linux教科書 LPICレベル1 Version5.0対応																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2026		3年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	データサイエンス	吉田 雅裕	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Excelを用いたデータクレンジングの方法、データの正しい読み方、統計的手法を用いたデータ分析をできるようになる。実際のビッグデータに対して、データサイエンスの各種手法を適用できるようになる。

【講義概要】

ビッグデータの利活用が必須化している現代において、実際に大量のデータに接し、それを加工・分析・可視化するスキルが極めて重要となる。本講義では、Microsoft社の表計算ソフト『Excel』を用いて、演習を中心とした授業内容により、データサイエンスの基礎技術を習得する。

回	授業計画及び学習の内容
1	イントロダクション
2	データサイエンスのプロセス
3	データ収集①（公開データ）
4	データ収集②（アンケート調査）
5	データクレンジング
6	データ集計
7	データ可視化
8	統計学基礎
9	統計的推定
10	統計的検定
11	連関分析
12	相関分析
13	データサイエンス演習①
14	データサイエンス演習②
15	データサイエンス演習③

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合			100%			100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

1985年生まれ。山口県出身。東京大学大学院博士課程修了。博士(学際情報学)。日本学術振興会特別研究員を経て、2013年に日本電信電話株式会社に入社。5Gと自動運転に関する研究開発を経て、現在、中央大学国際情報学部准教授。コンピュータネットワークとAIに関する研究教育活動に従事。

【教科書・参考文献】

参考文献：吉田雅裕，『Pythonで学ぶはじめてのデータサイエンス』，技術評論社，2023

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		3年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	ソフトウェアテスト		仲 智弘	有	4単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
単体テスト、結合テスト、総合テストについて、実践を交えて理解を深める。							
【講義概要】							
プログラミングの基礎について講義し、JavaScriptの書き方を演習を通して学ぶ。 各講義では授業の理解度を測るために課題の提出を求める。 各自JavaScriptについての研究を行い、発表をLT形式で行う。自身で研究を深めることでより理解を深めることを狙いとする。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	導入						
2	単体テスト概説						
3	単体テスト演習						
4	同値分割、境界値						
5	ホワイトボックステスト、カバレッジ						
6	単体テスト自動化：Java						
7	ここまでのまとめ						
8	単体テスト自動化：Java						
9	単体テスト自動化：Java						
10	単体テスト自動化：CI/CD						
11	デシジョンテーブルテスト						
12	状態遷移テスト						
13	組み合わせテスト、テスト技法適用チャート						
14	非機能要件、負荷試験						
15	総復習						
【成績評価方法】							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
	割合	60%			40%		100%
	(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること						
【教員紹介】							
独立系IT企業にてSE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。							
【教科書・参考文献】							
【この1冊でよくわかる】 ソフトウェアテストの教科書							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	セキュリティ監査		村上 浩紀	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
企業における内部監査を理解し、情報セキュリティ監査制度の知見をえて、情報セキュリティ監査の基礎知識を習得することを目標とする。							
【講義概要】							
教科書をベースに情報セキュリティ内部監査を説明し、Web情報をベースに情報セキュリティ監査制度を追加で説明する。ロールプレイを通して理解を深める。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	内部監査とは						
2	情報セキュリティ内部監査の位置づけと内部監査人の必要性						
3	あらためて情報セキュリティの基礎を学ぶ						
4	リスクマネジメント						
5	情報セキュリティ監査制度						
6	情報セキュリティ監査制度：監査基準						
7	中間試験						
8	情報セキュリティ監査制度：管理基準						
9	情報セキュリティ内部監査組織の整備、監査の効率的な進め方						
10	監査手続き						
11	監査リスクと品質管理						
12	情報セキュリティ監査の工程：年間監査計画、基本方針、予備的調査、実施計画、監査実施						
13	情報セキュリティ監査の工程：意見形成、監査報告、フォローアップ						
14	ロールプレイ、技術的検証、技術的検証と監査との関係、全体のまとめ						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ロールプレイ）	合計	
割合	50%			30%	20%	100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
(1) ITベンダー勤務、クラウドアーキテクト (2) 情報セキュリティ製品および認証系エンジニアとしての業務経験 (3) 情報セキュリティの取り組み支援および講演、演習などの実務経験							
【教科書・参考文献】							
教科書：情報セキュリティ内部監査の教科書 改訂三版(インプレスR&D) 参考文献：情報セキュリティ監査制度： https://www.meti.go.jp/policy/netsecurity/is-kansa/ 参考文献：インターネットの安全・安心ハンドブック： https://security-portal.nisc.go.jp/guidance/handbook.html							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		3年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	ロボット制御 I		稲垣 高宏	有	4単位 60時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
LEDやセンサ、モーターなどの電子工作パーツを直接つないで制御することにより、ロボット制御の基礎を習得することを目的とする。																					
【講義概要】																					
Raspberry Piと電子工作パーツをプログラミング言語Pythonで制御する実習を行う。中間と期末試験は行わない。実習中心とする。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	Raspberry Piとは何か（実習準備）																				
2	Raspberry Pi用のOS のインストール																				
3	LED																				
4	タクトスイッチ																				
5	割り込みとタイマー																				
6	PWM																				
7	ADCインストール																				
8	ADC入力																				
9	ADC確認																				
10	ブザー																				
11	モーター																				
12	マトリックスキーボードとLCD																				
13	リレー																				
14	まとめと復習																				
15	総合演習																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>60%</td><td></td><td></td><td>40%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	60%			40%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	60%			40%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
メーカー系IT企業でSE、プログラマとして開発業務に従事する。退職後に、シグマプロジェクトの研究員を務める。20代で起業して外資系やメーカー系の会社などを中心に開発業務に従事する。開発のほかに、マニュアルなどの翻訳や出版業務も行う。																					
【教科書・参考文献】																					
なし																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		3年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	ロボット制御Ⅱ		稲垣 高宏	有	4単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
ロボット制御の基礎となるより実践的な組み込み技術を業界標準なパーツを使って学ぶ。							
【講義概要】							
組み込みのMPUとして、実際に産業界で一番使われているのはSTM32である。その組み込みの実践的な技術を習得する。今回使用するMPUはSTM32L432KCを使う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	STM32L432KCとは						
2	LED						
3	タクトスイッチ（ポーリングと割り込み）						
4	マトリックスキーボード						
5	タイマーの基礎						
6	PWMとLEDの調光						
7	PWMとブザー						
8	ADC基礎(DMAモード)						
9	ADC確認						
10	ADC応用						
11	I2C						
12	I2CとLCD						
13	I2Cとジャイロ						
14	センサの応用1						
15	センサの応用2						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	60%			40%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
メーカー系IT企業でSE、プログラマとして開発業務に従事する。退職後に、シグマプロジェクトの研究員を務める。20代で起業して外資系やメーカー系の会社などを中心に開発業務に従事する。開発のほかに、マニュアルなどの翻訳や出版業務も行う。							
【教科書・参考文献】							
独自の資料							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		3年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	事例研究		稲垣 高宏	有	4単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
課題を考えて解決する方法を身に着ける。また、ドキュメントの作成も行う。							
【講義概要】							
各自課題を考えて、その課題を解決するためのプログラムを作成する。最後に八表をする。発表のためのドキュメントも作成する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	授業の方針の説明と、課題の発表						
2	作業						
3	作業						
4	作業						
5	作業						
6	作業						
7	作業						
8	中間発表						
9	作業						
10	作業						
11	作業						
12	作業						
13	作業						
14	作業						
15	発表						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合			60%	40%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
メーカ系IT企業でSE、プログラマとして開発業務に従事する。退職後に、シグマプロジェクトの研究員を務める。20代で起業して外資系やメーカ系の会社などを中心に開発業務に従事する。開発のほかに、マニュアルなどの翻訳や出版業務も行う。							
【教科書・参考文献】							
なし							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		3年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	講義	AI数学Ⅱ		太田 和也	無	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
IT業界ではAIに関する開発が進んでおり、AIには数学の考え方が多く用いられている。AIを使うだけでなく、内部の仕組みを理解するのに必要な数学の知識を身に付けることを目標とする。																					
【講義概要】																					
授業の前半では、予備知識となる積分の意味や計算方法を学習する。後半は、Excelを使用して様々な場面で利用される機械学習を学習していく。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	積分の基礎（積分の復習）																				
2	不定積分（置換積分）																				
3	不定積分（部分積分）																				
4	定積分																				
5	積分を利用した面積と体積																				
6	積分のまとめ																				
7	中間試験																				
8	線形回帰モデルを用いた需要予測																				
9	ロジスティック回帰モデルを使用したユーザターゲティング																				
10	ディープラーニングを使用した画像分類																				
11	教師なし学習を用いたユーザセグメンテーション																				
12	レコメンデーション																				
13	数理最適化を用いた利益最大化																				
14	これまでのまとめ																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>60%</td><td></td><td>30%</td><td>10%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	60%		30%	10%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	60%		30%	10%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
独立系IT企業にて、アンチウイルス製品のプリセールスおよび製品導入作業、サーバの設計、構築、保守に従事。大学時代に数学の教員免許を取得。																					
【教科書・参考文献】																					
特になし。授業中に独自に作成したプリントを配布する。																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	電気基礎		氏原 真代	無	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
基本的な電気の考え方、公式を理解する。公式を使った計算ができるようになり、電気の基礎学力、特に基本的な回路を理解できることを目的とする。							
【講義概要】							
電気の基礎から、直列回路や回路素子、電磁気や電磁誘導などを学習する。また、物理数学を含めた物理的な考えなどもあわせて学習する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	接頭語と単位の換算・電荷と電流・電位と電圧						
2	電気回路・オームの法則						
3	合成抵抗・直並列接続						
4	直並列回路・直流電圧計の倍率器・直流電流計の分流器						
5	キルヒホッフの法則						
6	前半まとめ・Nゲージ制御システム見学						
7	中間試験						
8	半導体・半導体の利用・トランジスタ						
9	コンデンサー・コンデンサーの接続						
10	いろいろな電気回路						
11	静電気力・電場						
12	電流と磁場・電流のつくる磁場						
13	電磁誘導・変圧器						
14	後半まとめ・コロナ放電と落雷の見学						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
	割合	80%	10%		10%		100%
	(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること						
【教員紹介】							
本校診療放射線学科で専任講師として20年以上、数学・物理学・電気実験等を担当し、その後非常勤講師として、独立行政法人教育センターや各種専門学校等で、数学・物理学・電気実験等を担当							
【教科書・参考文献】							
授業時にプリント配布・抗議の際に紹介							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		3年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	実践英語 I		Tope Salami	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
<ul style="list-style-type: none"> - Staying updated with general and technology news from English news sources. - Reading, listening and implementing English technical documentation 							
【講義概要】							
Classes will comprise: reading about general and technology related news topics, creating projects that require reading technology manuals and sometimes listening, homework to learn and reinforce technology vocabulary.							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Introductions, English for IT, AI or Security Projects						
2	News Topic 1, Introduction to Software, Operating Systems, Project 1						
3	News Topic 2, Software Applications, IT Careers, Project 1						
4	News Topic 3, The Internet, People in IT, Project 1						
5	確認照合用!A1						
6	News Topic 5, Computer Types, Components, Final Project 2						
7	News Topic 6, Peripherals, Networking, Final Projects Presentation						
8	News Topic 7, The Keyboard: Part 1 and Part 2, Project 3						
9	News Topic 8, Memory. Storage and Input Devices, Project 3						
10	News Topic 9, Removable Storage, IT Slang, Project 3 Presentation, Project 3						
11	News Topic 10, English for Electronics, Computer Ethics, Project 4						
12	News Topic 11, American IT companies, English for Programmers, Project 4						
13	News Topic 12, Introduction to Cryptocurrency, QA (Quality Assurance), Project 4						
14	News Topic 13, The Concise Guide to ITIL, Freelancing, Project 4						
15	Final Projects						
【成績評価方法】							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 (Class participation)	合計
	割合	30%	40%	20%		10%	100%
	(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。						
【教員紹介】							
My name is Tope Salami. I'm a Product Manager, developer and Teacher. I love to create engaging and fun classes.							
【教科書・参考文献】							
”1. https://docs.github.com/en 2. https://platform.openai.com/docs/introduction 3. https://ethereum.org/en/developers/docs/ 4. https://stablediffusionapi.com/docs/ ”							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2026		3年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	実践英語Ⅱ	Tope Salami	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

- Staying updated with General and Technology News from English News Sources.
- Reading Manuals in English Overcoming the fear of reading English manuals.

【講義概要】

Classes will comprise: discussions about general and technology related news topics. creating projects that require reading technology manuals and homework to learn and reinforce technology vocabulary.

回	授業計画及び学習の内容
1	Introductions, English for IT, AI or Security Projects
2	News Topic 1, Introduction to Software, Operating Systems, Project 1
3	News Topic 2, Software Applications, IT Careers, Project 1
4	News Topic 3, The Internet, People in IT, Project 1
5	News Topic 4, Measurements, Programming Languages, Final Project 2
6	News Topic 5, Computer Types, Components, Final Project 2
7	News Topic 6, Peripherals, Networking, Final Projects Presentation
8	News Topic 7, The Keyboard: Part 1 and Part 2, Project 3
9	News Topic 8, Memory. Storage and Input Devices, Project 3
10	News Topic 9, Removable Storage, IT Slang, Project 3 Presentation, Project 3
11	News Topic 10, English for Electronics, Computer Ethics, Project 4
12	News Topic 11, American IT companies, English for Programmers, Project 4
13	News Topic 12, Introduction to Cryptocurrency, QA (Quality Assurance), Project 4
14	News Topic 13, The Concise Guide to ITIL, Freelancing, Project 4
15	Final Projects

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 (Class participation)	合計
割合	30%	40%	20%		10%	100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

My name is Tope Salami. I'm a Product Manager, developer and Teacher. I love to create engaging and fun classes.

【教科書・参考文献】

English4IT

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		3年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	講義	就職対策 I		石井 眞木子	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
グループディスカッションを通して自分自身を理解し、他者とのコミュニケーションを学ぶ。また、就職活動の流れからソフトウェア業界の説明・会社訪問・採用試験などについてキャリアコンサルタントの視点から解説し、来年度の就活がスムーズに行えるように履歴書、採用面接の準備を行う。																					
【講義概要】																					
企業説明会から採用試験までの対応をキャリアコンサルタントとして解説し、ワークシートを使って自己分析を深める。また、発表会、スピーチなどを通して人前で話す経験を積む。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	講義の説明、オリエンテーション、グループディスカッションの進め方を学ぶ（価値観のワーク）																				
2	就職活動の概要を把握、就職活動の全体像、主なスケジュールなどの説明、社会人基礎力の理解																				
3	働くことの意味、社会人との違いの理解																				
4	グループディスカッションの進め方を学ぶ その1 実習「価値観のワーク」																				
5	グループディスカッションの進め方を学ぶ その2 実習「ボランティア」																				
6	お金の話（給与＋残業代）																				
7	中間試験																				
8	ソフトウェア業界の理解、職種の構成、SEの業務内容の理解																				
9	ワークシートを使って自己分析をする その1 パーソナリティ、長所と短所等																				
10	ワークシートを使って自己分析をする その2 心の4つの窓「ジョハリの窓」																				
11	ワークシートを使って自己分析をする その3 学生時代に力を注いだこと																				
12	ワークシートを使って自己分析をする その4 挫折経験、キャリアプラン、将来の夢																				
13	企業の採用に対する考え方などについての知識の理解とグループワークによる実践																				
14	交流分析 その1 エゴグラムによる自己の行動の特徴の理解と今後の行動変容の認識																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>80%</td> <td></td> <td>10%</td> <td>10%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%		10%	10%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%		10%	10%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
担任業務の学生の生活指導、就職支援のために研鑽を積み産業カウンセラー、国家資格のキャリアコンサルタントの資格を取得し、学生のキャリア支援に勤しむ。																					
【教科書・参考文献】																					
なし																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		3年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	就職対策Ⅱ		石井 眞木子	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
就職活動の流れからソフトウェア業界の職種・会社選びの軸・会社訪問・採用試験などについてキャリアコンサルタントの視点から解説し、来年度の就活がスムーズに行えるように履歴書、自己PR、採用面接の準備を行う。							
【講義概要】							
就職対策Ⅰで行った自己分析をもとに、より自己理解を深め履歴書・ESを作成する。さらに、面説練習、様々なロールプレイングによってビジネスマナーを体験しスムーズに就職活動をするための基礎力を養う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	就職対策Ⅱの講義についての説明、就活のスケジュールについての復習、履歴書の説明を行う						
2	履歴書を作成する 「PREP法」を正しく理解する						
3	自己PRを記述し、グループワークによってお互いの自己PRを深める						
4	学生時代に頑張ったことを記述し、グループワークによってお互いの学チ力を深める						
5	採用試験（筆記・グループディスカッション・面接など）の説明。敬語、ビジネスマナーを理解する						
6	採用試験の筆記試験について模擬試験問題を体験し、自分の得意不得意を理解する						
7	中間試験						
8	採用試験のWeb試験（CAB、GAB）について模擬試験問題を体験し、自分の得意不得意を理解する						
9	採用試験の面接試験についての説明と面接試験のロールプレイングの準備を行う						
10	面接試験のロールプレイング その1						
11	面接試験のロールプレイング その2						
12	企業求人理解 その1. 企業の求人票を確認する						
13	企業求人理解 その2. 会社の特性の見方と自分に合った会社選びの基準を理解する						
14	内定、試用期間と懲戒についての説明と内定後のスケジュール等を理解する						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（履歴書）	合計	
割合	80%			10%	10%	100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
東京電子専門学校キャリアセンター所属、就職支援のために研鑽を積み産業カウンセラー、国家資格のキャリアコンサルタントの資格を取得し、学生のキャリア支援に勤しむ。							
【教科書・参考文献】							
就職筆記試験 対策問題集 一般常識・SPI編							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		3年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	講義	企業会計Ⅱ		木村 和也	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
財務と会計は企業にとって非常に重要です。経営者が自社の経営判断を行ったり、第三者が企業の状況を分析するうえで必要となる知識を簿記や財務諸表の分析を通して学んでいきます。																					
【講義概要】																					
本コースでは、財務と会計に必要な専門知識である財務諸表から企業分析ができる能力を学んでいきます。会計や財務に関する正しい知識やスキルは、企業やビジネスにとって必要な概念であると同時に、これらを学ぶことはみなさんの人生にとっても有意義なものになるでしょう。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	オリエンテーション																				
2	財務諸表とは																				
3	貸借対照表①																				
4	貸借対照表②																				
5	貸借対照表③																				
6	損益計算書①																				
7	中間試験																				
8	損益計算書②																				
9	キャッシュ・フロー計算書①																				
10	キャッシュ・フロー計算書②																				
11	財務諸表分析①																				
12	財務諸表分析②																				
13	財務諸表分析③																				
14	財務諸表分析（演習）																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td>10%</td><td></td><td>10%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%	10%		10%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%	10%		10%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
税理士・行政書士・介護福祉士の資格を保有。現在は、税理士事務所を立ち上げて活動中。企業経営実績や介護福祉事業所の運営経験などがあり、これらを活かした「実務に役立つ授業」をしていきたいと思っています。																					
【教科書・参考文献】																					
ビジネス会計検定試験公式テキスト3級																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		3年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	講義	情報関連法規Ⅱ		佐久間 悠太	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
①現代の市民生活を送るうえで必要な法的知識を修得する。 ②情報処理技術者として必要な法的知識を修得する。																					
【講義概要】																					
本講義では、身近な法律問題を取り上げて、法律学の基本的な知識を修得します。また、情報処理技術者として必要な法的知識を修得します。単なる知識として理解するだけでなく、具体的な事例をもとに、法的思考を養うことを目標とします。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	イントロダクション（知的財産権のあらまし）																				
2	商標法																				
3	不正競争防止法																				
4	特許権、実用新案権、意匠権																				
5	著作権①																				
6	著作権②																				
7	中間試験																				
8	電子商取引																				
9	個人情報保護法																				
10	情報公開法																				
11	情報処理技術者として必要な法律について理解する①																				
12	情報処理技術者として必要な法律について理解する②																				
13	情報処理技術者として必要な法律について理解する③																				
14	情報処理技術者として必要な法律について理解する④																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>70%</td><td></td><td>15%</td><td>15%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	70%		15%	15%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	70%		15%	15%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。																					
【教員紹介】																					
名古屋市立大学大学院修士課程修了。専攻は憲法学。大学院修了後、中日本高速道路株式会社に8年間勤務し、法務業務（契約書審査や訴訟対応等）や情報システム業務を主に担当。2021年に同社を退職し、現在は行政書士佐久間事務所の代表として、企業の法務業務をサポートしている。東北大学大学院博士課程に在籍中。																					
【教科書・参考文献】																					
米丸恒治編『18歳からはじめる情報法〔第2版〕』（法律文化社、2022年）																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科		2026	3年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅲ		高度情報システム科 担当教員	無
単位・時間数					
2単位 30時間					

【授業の到達目標及びテーマ】

運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育みます。
 ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4時間程度歩き、心身のバランスを図ります。
 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。
 心身の健全な育成を目指しています。

【講義概要】

この授業は、春と秋のハイキング、学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。

回	授業計画及び学習の内容
1	春のハイキング
2	
3	
4	学園祭準備（1日目、2日目）
5	
6	
7	学園祭（1日目）
8	
9	
10	学園祭（2日目）、後片付け
11	
12	
13	秋のハイキング
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合				100%		100%

（補足） 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

-

【教科書・参考文献】

-

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科		2026	4年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅳ		高度情報システム科 担当教員	無

【授業の到達目標及びテーマ】

運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育みます。
 ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4時間程度歩き、心身のバランスを図ります。
 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。
 心身の健全な育成を目指しています。

【講義概要】

この授業は、春と秋のハイキング、学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。

回	授業計画及び学習の内容
1	春のハイキング
2	
3	
4	学園祭準備（1日目、2日目）
5	
6	
7	学園祭（1日目）
8	
9	
10	学園祭（2日目）、後片付け
11	
12	
13	秋のハイキング
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合				100%		100%

（補足） 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

-

【教科書・参考文献】

-
